

特別企画

文部科学省不祥事報道

テレビは何を伝え、何を伝えなかったのか

元会社役員・谷口浩司とは何者だったのか

対象期間：7月19日から8月1日まで2週間

対象番組

ニュースウォッチナイン (NHK)

NEWS23 (TBS)

報道ステーション (テレビ朝日)

NEWS ZERO (日本テレビ)

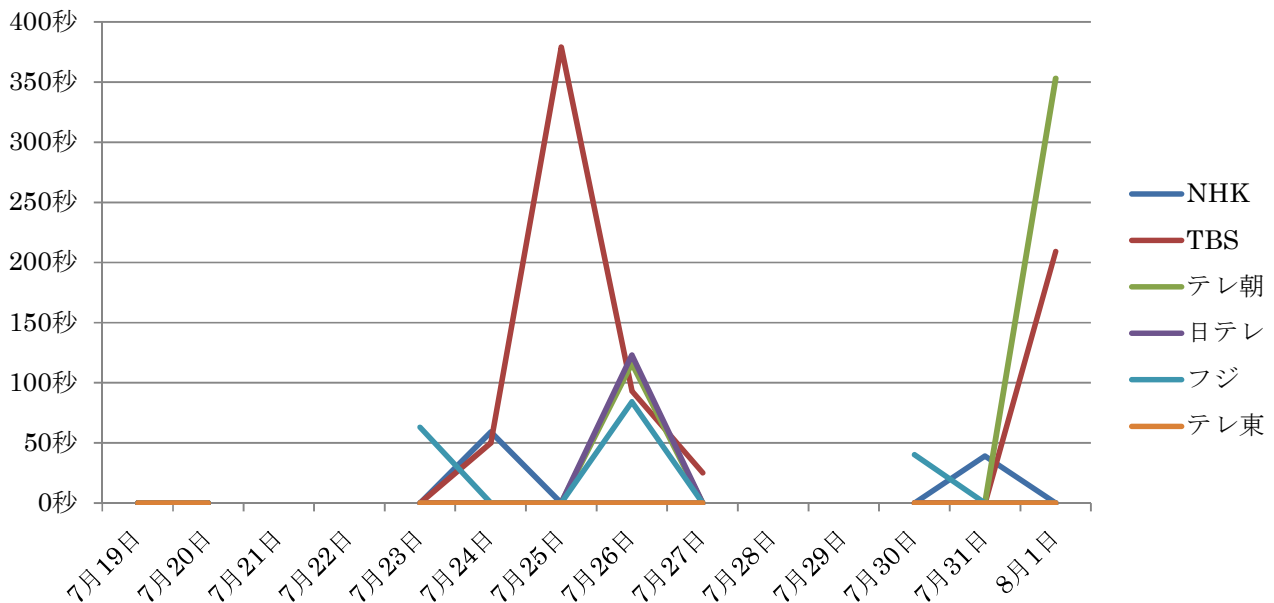
FNN プライムニュース (フジテレビ)

ワールドビジネスサテライト (テレビ東京)

検証テーマ：文部科学省不祥事

・総括

文科省不祥事報道の各局比較 (7/19~8/1)



上図は、7月19日から8月1日にかけて各局の夜のニュース番組が文科省で相次いだ不祥事についてどれほどの時間をかけて報じたかを示したグラフである。(7月19日は野党国会議員の関与を疑うWeb記事が配信され始めた時期であり、そこを起点に2週間の調査を行った。) こうして比較すると、各局によって取り上げるかどうか、またどの程度の時間をかけて取り上げるのかという点にははっきりとした差が出ていることがわかる。

どの局のニュース番組も放送時間に大差は見られないので、文科省の不祥事についてほとんど報じなかった局は何も報じていない、というわけではなく、例えばNEWS23や報道ステーションが文科省の不祥事を大きく取り上げた日に、他方で他のテレビ局は別のトピックを取り上げていた、ということになる。

それは報道の多様性という点から見ても好ましいことであるし、放送事業免許という規制はありながらも、その中でも一定の「言論の自由市場」が成り立ちうるという点では評価できる事実である。

インターネットやSNSなどテレビに代わる情報網が発達・普及してきたこともあり、テレビの社会や世論に対する影響力は一昔前に比べると、相対的にはかなり弱まったと言える。しかしそれはあくまでもかつてと比べての相対的な話であり、他方で、テレビメディアは依然として社会や世論に対して影響力を保持していると言える。その最たるものが、政治的問題や社会的問題を提起する力、アジェンダセッティングの機能である。

テレビが取り上げるか否かで、問題が大きくなるか、沈静化するかが分かれる、ということは往々にして起きている。テレビに取り上げられるまでは、知る人ぞ知るというようなものに過ぎなかったものが、テレビに取り上げられることで一気に社会問題や政治的課題となることもある一方で、逆にテレビなどマスメディアで取り上げられないため社会ないし世間からは長らく問題であると認識されなかったような問題もあるだろう。

とはいえ、ニュース番組も一定の時間という枠があるので、すべての出来事を取り上げることは不可能である。だからこそ、各局が横並びの報道をするのではなく、各局によって取り上げるテーマや各テーマへの時間配分が異なるというのは、その結果として視聴者は多数ある報道番組から多様な情報を入手することができるので、視聴者の知る権利、という点からはむしろ好ましいことであると言える。

むしろ、各局が横並びの報道を行い、どのチャンネルを回しても同じテーマが似たような扱いで報じられている、という方が問題であり、中でもどのチャンネルを回しても報道で取り上げられないテーマがある、ということとは大きな問題である。

そうした意味では、今回、TBSやテレビ朝日がこの文部科学省の不祥事問題を他の局と比べてもかなり大きく取り上げた一方で、フジテレビや日本テレビなどはあまり大きく取り上げなかったことや、テレビ東京に至っては全く取り上げていなかったことについては、取り立てて問題であるとは言えないだろう。

むしろ、マスメディアが持つアジェンダセッティングという機能に着目すると、各局が今回の文部科学省の不祥事をどのような点に焦点を当てて報じたか、ということこそが問題であろう。

・谷口浩司とは何者だったのか

今回の文部科学省の一連の不祥事に一貫して関与してきた人物として谷口浩司氏がいる。谷口氏は報道では元

会社役員と伝えられているが、グーグルで「谷口浩司」と検索をすると以下のような検索結果が出て来る。

Google 谷口浩司

すべて ニュース 画像 動画 ショッピング もっと見る 設定 ツール

約 60,900 件 (0.46 秒)

谷口浩司を信じる妻の疑問: 谷口浩司のホームページ
kojitaniguchi.com/ ▼
谷口浩司の妻です。乳癌を患って治療中なので皆様に直接対応が出来ないことを最初にお詫び申し上げます。病気を患うまでは仕事をしていましたが、今は自宅から出たり出られなかったり体調次第の生活です。療養のため主人は職場に近くに部屋を借り、二...

谷口浩司の経歴や会社名と顔画像がヤバい! 嫁や年収も調査! | 徒然...
https://nicosite.jp/2498.html ▼
2018/07/05 - 文部科学省の佐野太さんが自分の子供を東京医科大学へ入学させる代わりに、東京医科大学の支援事業を受け入れたとして問題になりました。また、佐野太さんと東京医科大学の関係者を結び付けたのが谷口浩司さんだったとしています。
吉田統彦と谷口浩司との関係は? 文科省汚職! 密談音声データを ...

【文科省汚職】逮捕者の谷口被告の妻がHP開設!! 実名で真犯人を告発...
https://www.kenkokarate.com › 世の中 ▼
2018/07/29 - 要点をざっくり 現在東京医科大学の裏口入学論旋や宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の業務を巡る取締などで、文部科学省の幹部が逮捕されています。これらの贈賄容疑への関与で逮捕された、元コンサルタント会社役員谷口浩司 ...

マスコミ報道だけでは見誤る「文科省汚職事件」の深い闇 (伊藤 博敏...
https://gendai.ismedia.jp/articles/-/56790 ▼
谷口浩司を信じる妻の疑問」という副題がついており、7月24日、最初の事件である東京医大の裏口入学に絡み、佐野本前局長 (59歳) の受託取締罪を助助したとして起訴された直後に立ち上がり、毎日のように更新。「政治家」の癒着は日常であり、「轟が関...

#谷口浩司 hashtag on Twitter
https://twitter.com/hashtag/谷口浩司 ▼
See Tweets about #谷口浩司 on Twitter. See what people are saying and join the conversation.

こうした検索結果を見ると、谷口浩司氏は単なる会社役員ではなさそうであるし、「マスコミ報道だけでは見誤る」などという言葉もあるように、マスメディアではまだ伝えられていない、疑惑ないし新事実が隠されているようだ。検索結果の中でもとりわけ目を引くのは、トップに上がっている「谷口浩司を信じる妻の疑問：谷口浩司のホームページ」であろう。

この「谷口浩司を信じる妻の疑問」というのは現段階で7月23日からの投稿が確認されるホームページであり、文部科学相をめぐる不祥事が起きてから開設されたホームページ（コーナー）である。

では、そこでは何が書かれているのだろうか。

谷口浩司のホームページ

文科省汚職：私立大学研究ブランディング事業と暴口入学、JAXA

谷口浩司の妻です。

乳癌を患って治療中なので皆様と直接対応が出来ないことを最初にお詫び申し上げます。
病気を患うまでは仕事をしていたのですが、今は自宅から出たり出られなかったり体調次第の生活です。
療養のため主人は職場に近くに部屋を借り、二人の時間を多く取ることを優先してくれていました。
主人は、出来る仕事は自宅できるようにしていたため、私も仕事関係のことを直接見聞きする機会が多くありました。そのため今回の逮捕・起訴には大変驚いています。
事件の真相が知りたい、というのが私の率直な気持ちです。

お問い合わせ先：mail@kojitiniguchi.com

更新 1-3. 吉田統彦先生と白井先生 政治献金は4980万円

更新 3. 疑問のつぶやき

疑問の前提

東京医科大学白井理事長の前に二人の人物がいます。

一人は、医師で衆議院議員。

一人は、悪徳ブローカー。

佐野太官房長には大学のために便宜を図ってもらいたい。

JAXAの川端和明氏には大学の記念講演に宇宙飛行士を派遣してもらいたい。

東京医科大学白井理事長は、実現させるためにどちらの人物に頼むのが良いでしょうか？

私は事件は初めから無かったと信じています。

インターネットでのことであるので、このホームページの情報が、あるいはそもそも妻が運営しているということ、それらの真偽の程は定かではない。しかし、ホームページに掲載されている記載はとても生々しく、谷口浩司氏の妻かどうかはさておいて、谷口氏と非常に近い人物が情報発信をしているのだという心象を形成するに足る作りになっている。そして、そこでは彼にはもう一つの顔、国民民主党の羽田雄一郎参院議員の政策顧問としての顔もあるということも取り上げられている。

 参議院議員 羽田 雄一郎

政策顧問 谷口 浩司

参議院議員会館事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2丁目1-1 参議院会館818号室

携帯番号：090-9957-1310 e-mail：yuuichiro_hata02@sangiin.go.jp

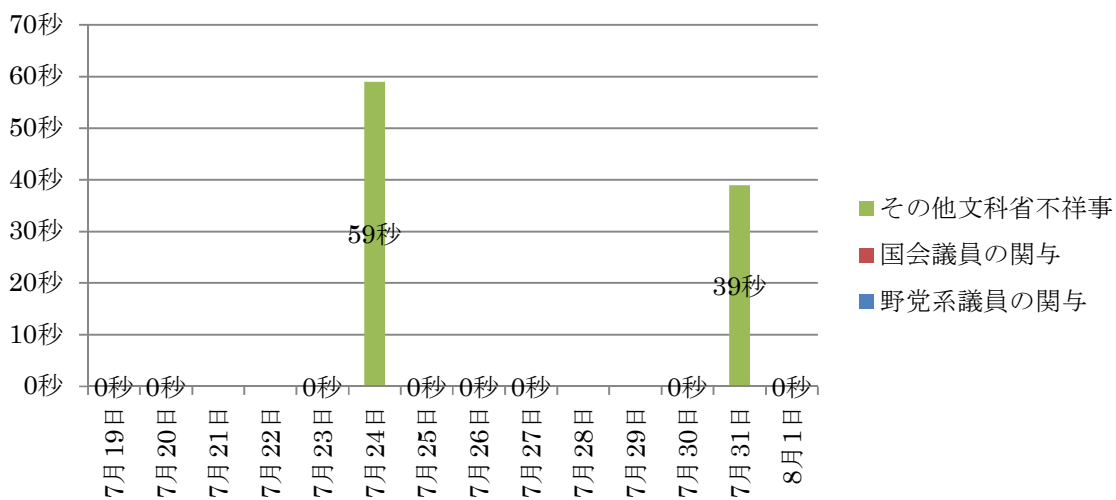
こうしたホームページの記述からも、グーグル検索結果を見た際の「どうやら谷口浩司氏というのは単なる会社役員ではないのではないか」という印象がそう誤ったものではないのでは、という感じもする。

しかし、マスメディアでは谷口浩司氏にこうした一面があるということ、あるいは少なくともこうした一面があるとされていることについては全く触れられていなかった。

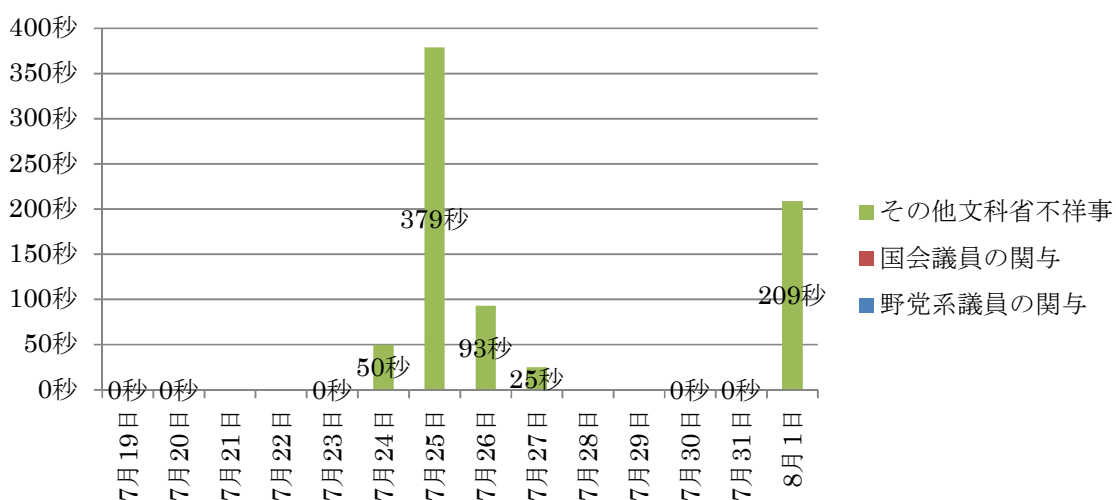
・マスメディアの文部科学省の不祥事の取り上げ方

今回の一連の文科省を舞台とした不祥事と密接に関係している谷口浩司氏であるが、今回の文科省の不祥事と、谷口氏と近い野党議員の関与あるいは官僚からの忖度などの可能性について、メディアはどうか扱ったのだろうか。

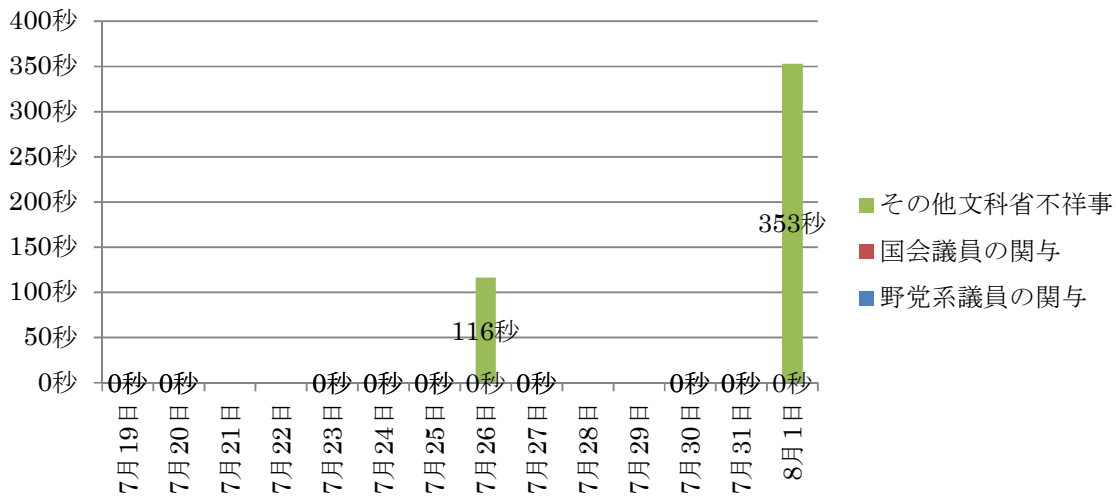
ニュースウォッチ9 (7/19~8/1)



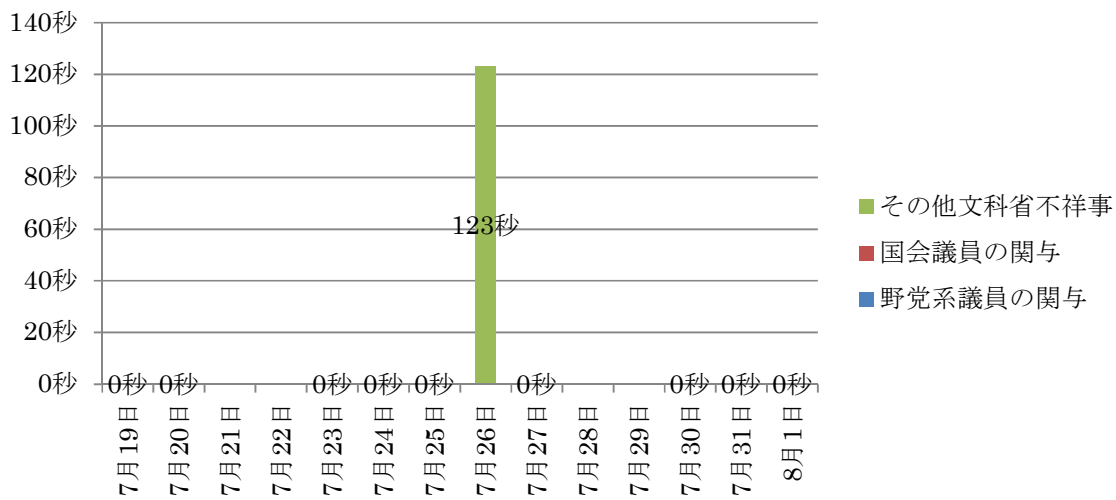
NEWS23 (7/19~8/1)



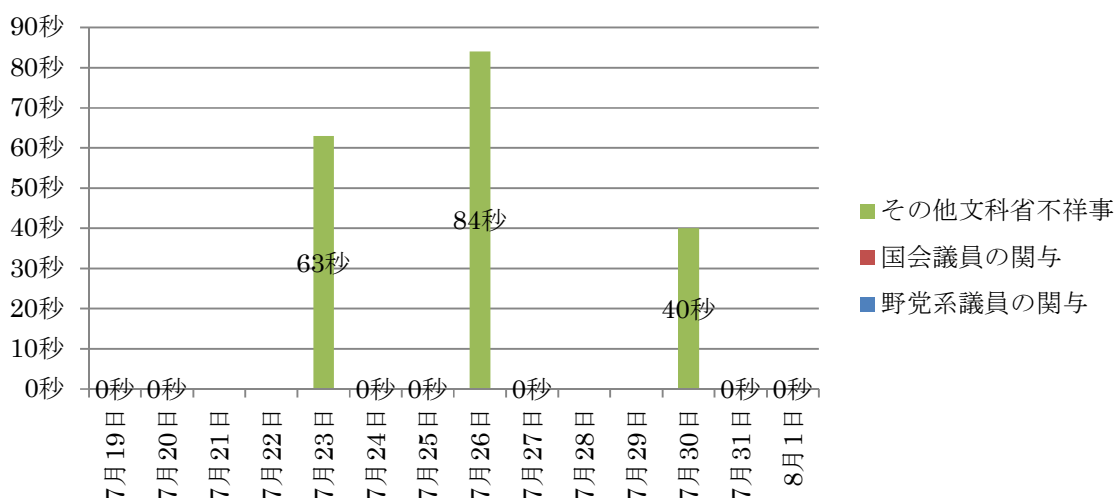
報道ステーション (7/19~8/1)



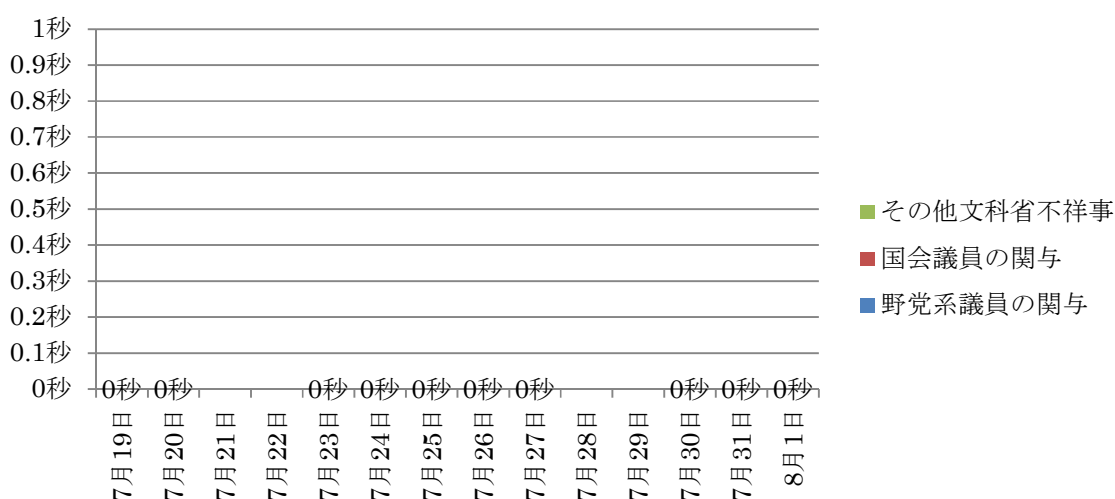
NEWS ZERO (7/19~8/1)



FNNプライムニュース (7/19~8/1)



ワールドビジネスサテライト (7/19~8/1)



そもそも、文科省の不祥事を取り上げなかったテレビ東京のワールドビジネスサテライトは別にしても、どの局も見事なまでに、今回の文科省の不祥事を単なる文部科学省と元会社役員の起こした汚職事件だとしか扱っていなかった。これは些細なことでも官邸や総理と結びつけて報じてきた森友加計問題とは大きな違いである。

官僚の仕事が激務だと残業時間が大変だと言われる理由の一つには国会対応があるが、この国会対応とは言ってしまえば野党対応である。この野党対応を円滑にするために官僚が野党議員に付度を働かせた、という線のストーリーも荒唐無稽な話ではない。しかし、そうした疑惑がささやかれることもなければ、そもそも谷口浩司氏が野党議員と非常に密接な関係にあるということすら取り上げられることがなかった。今回の不祥事を上げる時間という点では各局の間に差が見られたが、どこを取り上げてどこを取り上げないか、という点ではそもそも文科省の不祥事自体を取り上げなかったテレビ東京以外は各局横並びの報道であった。

